

調査方法

本調査は2段階式で行った。第1段階は、自己記入式質問紙調査、第2段階は、2次調査質問紙+終夜SpO₂測定を実施した。

質問紙の構成

- (1) 身長、体重、血圧および既往暦
- (2) 睡眠、呼吸問題に関する質問（自己作成）
- (3) 昼間の眠気の自己評価尺度、(Epworth Sleepiness Scale, ESS)

睡眠障害の定義

不眠：入眠困難 or 中途覚醒 or 熟眠感欠如

過眠：昼間の眠気 or ESS得点11点以上

RLS疑い：就床時脚の異常感覚と不眠或いは過眠

OSASのハイリスク群：以下のi～iiを2個以上認めた場合

- i 習慣性鼾 or 睡眠中の呼吸停止
- ii 不眠 or 過眠
- iii 高血圧 or BMI \geq 25

C. 研究結果

対象者の基本情報

全体で363人、男性は355人、女性は8人であった。平均年齢は41.8（ \pm 10.7）で、21歳～70歳平均BMIは24.3（SD:3.9）（16.6～42.4）深夜勤務は37.3%であった。

トラック運転手の生活習慣病

この集団における生活習慣病の頻度は、高血圧は26.4%、糖尿病は3.9%、心臓病は1.9%、肥満は37.7%に見られた。

トラック運転手の睡眠障害

睡眠障害について、不眠は47.1%、過眠は22.9%、RLSの疑いは34.4%であった。なんらかの睡眠問題を持つ人は全体の47.1%にみられた。

トラック運転手の不眠

不眠の頻度は31.4%であった。入眠困難は12.1%、中途覚醒は13.8%、熟眠感欠如は21.8%であった。

OSASのスクリーニング

習慣性いびきは27%で、睡眠時に観察された呼吸停止（無呼吸）は8.3%であった。

i 習慣性鼾 or 睡眠中に観察された呼吸停止は27.8%、ii 不眠 or 過眠は40.2%、iii 高血圧 or BMI \geq 25は52.1%にみられた。

i～iiiの3つうちに2つ以上を持つ人はOSASのハイリスク群と定義し、その頻度は34.4%であった。

D. まとめ

本調査でトラック運転手における睡眠障害をある程度把握した。また、本年度に引き続き、これから2年間かけてより詳細な睡眠障害の実態調査をする予定である。

この集団における睡眠障害の治療および睡眠衛生指導を実施することにより、交通事故の防止に寄与できると考える。

E. 研究発表

1 論文発表

原著

- Yin M, Miyazaki S, Itasaka Y, Shibata Y, Abe T, Miyoshi A, Ishikawa K, Togawa K: A preliminary study on application of portable monitoring for diagnosis of obstructive sleep apnea. *Auris Nasus Larynx* 32: 151-156, 2005.
- Itasaka Y, Miyazaki S, Yin M, Shibata Y, Tanaka T, Ishikawa K: Effectiveness of surgical treatments for obstructive sleep-related breathing disorders: Upper airway pressure analysis. *Sleep and Biological Rhythms* 3: 114-121, 2005.
- Yin M, Miyazaki S, Ishikawa K: Evaluation of type 3 portable monitoring in unattended home setting for suspected sleep apnea: Factors that may affect its accuracy. *Otolaryngology-Head and Neck Surgery*. 134: 204-209, 2006.
- 駒田一朗, 宮崎総一郎, 山岡 治, 瀬戸幸男, 吉田正明, 西尾宗明: 睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病. *社会保険医学雑誌*44: 23-27, 2005.
- 三好 彰, 中山明峰, 稲川俊太郎, 殷 敏, 程 雷, 時 海波, 柏崎 潤, 宮崎総一郎: 鼻閉: いびき・OSASの原因としての下甲介肥大に対するラジオ波エネルギー通電(ソムノプラスティ)手術. *耳鼻と臨床*51:50-58, 2005.
- ついで. *口咽科* 17: 165-168, 2005.
- 千葉伸太郎, 宮崎総一郎, 鈴木賢二, 西村忠朗, 岡本牧人: 成人の睡眠呼吸障害: 治療について. *口咽科* 17: 177-185, 2005.
- 杉山 裕, 宮崎総一郎, 駒田一朗: 睡眠呼吸障害(いびき, 睡眠時無呼吸症候群)の診療. *治療* 87: 1393-1396, 2005.
- 岡本牧人, 千葉伸太郎, 宮崎総一郎, 鈴木賢二, 西村忠朗: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の病態. *口咽科* 17: 159-164, 2005.
- 宮崎総一郎, 新谷朋子, 三次正春: 小児SASの手術. *ENTONI* 52: 38-44, 2005.
- 宮崎総一郎, 田中俊彦: 睡眠時無呼吸症候群の機能検査(終夜睡眠ポリグラフ検査). *専門医通信* 84: 14-15, 2005.
- 宮崎総一郎: 睡眠呼吸障害を考える. *耳鼻科の立場から. 循環器科* 58:238-242, 2005.
- 宮崎総一郎: 小児の閉塞型睡眠時無呼吸症候群. *小児看護* 28: 1474-1478, 2005.
- 宮崎総一郎: Question小児のSASは?の回答. Q & Aでわかる肥満と糖尿病 4: 3; pp. 438-440, 丹水社, 東京, 2005.
- 駒田一朗, 宮崎総一郎, 芝埜 彰: 睡眠時無呼吸症候群を見逃さないために病歴・身体所見から予測する. *Heart View* 10:160-165, 2006.

著書

総説

- 宮崎総一郎, 鈴木賢二, 西村忠朗, 岡本牧人, 千葉伸太郎: 小児の睡眠障害: いびき, 無呼吸. *口咽科* 17: 169-176, 2005.
- 鈴木賢二, 西村忠朗, 岡本牧人, 千葉伸太郎, 宮崎総一郎: 成人の睡眠呼吸障害: 診断に
- 宮崎総一郎, 駒田一朗, 池上あずさ, 杉山裕: いびき. 症状から診る内科疾患 pp. 138-141, メジカルビュー社, 東京, 2005.
- 宮崎総一郎: 睡眠時無呼吸・いびきの手術. *イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科*, (監修 村上 泰, 編集 飯沼壽孝 木田亮紀 小林俊光 久 育男 森山

寛) pp.124-125, 東京医学社, 東京, 2005.

宮崎総一郎: 術後癒痕狭窄例の咽頭拡大術.

イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, (監修 村上 泰, 編集 飯沼壽孝 木田亮紀 小林俊光 久 育男 森山寛) pp.126, 東京医学社, 東京, 2005.

赤柴恒人, 井上雄一, 大井元晴, 岡本牧人, 片山宗一, 木村 弘, 榊原 博樹, 塩見利明, 高崎雄司, 西村正治, 飛田 渉, 宮崎総一郎: 成人の睡眠時無呼吸症候群 診断と治療のためのガイドライン. メディカルレビュー社, 東京, 2005.

3 学会発表

Nagura M, Iwsaki S, Mineta H, Miyazaki S: Palatopharyngeal surgery for OSA, pitfall and strategy The 3rd Sleep Respiration Forum in Taipei. Taipei. 2005. 3. 19

Saito H, Miyazaki S, Ogawa K, :Pulse-oxymetry is useful in determining the indications for an adenotonsillectomy in pediatric obstructive sleep apnea syndrome The 3rd Sleep Respiration Forum in Taipei. Taipei. 2005. 3. 19

Komada I, Miyazaki S :A new design for the palatopharyngoplasty in OSAS The 3rd Sleep Respiration Forum in Taipei. Taipei. 2005. 3. 19

Miyazaki S: Value of diagnostic assessment of the upper airways: XVII IFOS World Congress, Rome. 2005.6.25-30 (Round Table)

駒田一朗, 宮崎総一郎: 口蓋垂を温存した口蓋咽頭形成術の手術成績 第15回日本頭頸部外科学会. 新潟市. 2005.1.21-22

杉山 裕, 宮崎総一郎, 肥塚 泉: 睡眠時無

呼吸症候群スクリーニング簡易質問表の有用性. 第34回睡眠呼吸障害研究会. 東京. 2005. 2. 19

日暮尚樹, 菊池 哲, 宮崎総一郎, 田中俊彦, 板坂芳明, 石川和夫: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群における肥満, 扁桃肥大と顎顔面形態に関する検討. 第34回睡眠呼吸障害研究会. 東京. 2005. 2. 19

駒田一朗, 清水猛史, 宮崎総一郎: UPPP変法の治療成績. 第34回睡眠呼吸障害研究会. 東京. 2005. 2. 19

宮崎総一郎: 小児の睡眠呼吸障害. 第7回東京小児HOTシンポジウム (特別講演) 東京. 2005. 3. 5

宮崎総一郎, 殷 敏, 田中俊彦, 板坂芳明, 石川和夫: 睡眠時無呼吸症候群に対するUPPPの長期成績 第106回日本耳鼻咽喉科学会. 大阪. 2005. 5. 20

殷 敏, 宮崎総一郎, 板坂芳明, 田中俊彦, 柴田 豊, 石川和夫: 睡眠呼吸簡易検査措置の信頼性. 第106回日本耳鼻咽喉科学会. 大阪. 2005. 5. 20

宮崎総一郎: 教育セミナー(6)睡眠時無呼吸症候群(セミナー) 第106回日本耳鼻咽喉科学会 大阪市. 2005. 5. 20

宮崎総一郎: 睡眠の役割と睡眠時無呼吸症候群 第1回Dream-Heartカンファレンス 福岡市. 2005. 5. 28

宮崎総一郎: 睡眠時無呼吸症候群の理解と対処(臨床セミナー) 第67回耳鼻咽喉科臨床学会, 松山. 2005. 7. 8-9

日暮尚樹, 菊池 哲, 宮崎総一郎, 田中俊彦, 板坂芳明, 石川和夫, 杉崎正志: 閉塞型睡眠時無呼吸症候群における顔の外観的特徴に関する検討. 第2報 第35回睡眠呼吸障

害研究会. 東京. 2005. 7. 9

駒田一朗, 宮崎総一郎: 食道内圧のパターンによる評価の試み 第35回睡眠呼吸障害研究会. 東京. 2005. 7. 9

宮崎総一郎: 睡眠時無呼吸症候群の病態と画像診断 第15回京滋核医学セミナー. 京都市. 2005. 8. 27

宮崎総一郎: 睡眠障害の理解と睡眠時無呼吸への対処 (シンポジウム). 第18回日本口腔・咽頭科学会総会. 旭川市. 2005. 9. 9

宮崎総一郎: 睡眠時無呼吸症候群の取り扱い (実技講習) 日本耳鼻咽喉科学会第19回専門医講習会. 神戸市. 2005. 11. 20

宮崎総一郎: 睡眠時無呼吸症候群と高血圧 第24回滋賀高血圧研究会学術講演会. 草津市. 2005. 11. 26

宮崎総一郎: 睡眠呼吸障害の理解 一気道病態と睡眠衛生一 第2回群馬睡眠時呼吸障害研究会 前橋市. 2006. 1. 26

田中俊彦, 駒田一朗, 宮崎総一郎: 扁桃とレーザー治療 第22回滋賀臨床耳鼻咽喉科セミナー. 草津市. 2006. 2. 4

駒田一朗, 田中俊彦, 宮崎総一郎: コブレーション扁桃摘出の経験 第22回滋賀臨床耳鼻咽喉科セミナー. 草津市. 2006. 2. 4

Miyazaki S: Evaluation of type 3 portable monitoring in unattended home setting for suspected sleep apnea: Factors that may affect its accuracy. (Alternating Lecture) 11th International symposium on sleep related breathing disorders. Antwerp, Belgium. 2006. 2. 17-18

田中俊彦, 宮崎総一郎, 板坂芳明, 小林洋征: 食道内センサーの比較と実際 第36回睡眠呼吸障害研究会. 東京. 2006. 2. 18

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

班 員 名 簿

区 分	氏 名	所属施設・職名	住 所 (電話番号)
総 括	大 川 匡 子	滋賀医科大学医学部 精神医学講座 教授	〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 TEL 077-548-2290
分 担	大井田 隆	日本大学医学部 公衆衛生学教室 教授	〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1 TEL 03-3972-8111 (代表)
分 担	本 橋 豊	秋田大学医学部 公衆衛生学講座 教授	〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1 TEL 018-884-6086
分 担	内 山 真	国立精神・神経センター 精神保健研究所 精神生理部 部長	〒272-0827 千葉県市川市国府台1-7-3 TEL 047-375-4756
分 担	三 島 和 夫	秋田大学医学部 精神科学講座 助教授	〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1 TEL 018-884-6122
分 担	内 村 直 尚	久留米大学医学部 精神神経医学講座 助教授	〒830-0011 久留米市旭町67 TEL 0942-31-7564
分 担	井 上 雄 一	代々木睡眠クリニック 院長	〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-24-10 TEL 03-3374-9112
分 担	宮 崎 総一郎	滋賀医科大学医学部 睡眠学講座 教授	〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 TEL 077-548-2914

平成17年度研究報告会

日中の過眠の実態とその対策に関する研究

日 時：平成18年2月10日(金) 15:00-18:20

会 場：ロイヤルオークホテル（大津市萱野浦23-1）

プログラム

- 15:00-15:20 挨拶
大川 匡子
滋賀医科大学医学部精神医学講座
- 15:20-15:40 一般住民の日中過眠と心の健康調査
日本人一般住民における寝酒と睡眠薬の使用に関する疫学研究
大井田 隆
日本大学医学部公衆衛生学教室
- 15:40-16:00 総合病院に勤務する交代制看護職員の日中の眠気について
本橋 豊
秋田大学医学部公衆衛生学教室
- 16:00-16:20 看護師の睡眠、健康度と医療ミス
大川 匡子、今井 眞
滋賀医科大学医学部精神医学講座
- 16:20-16:40 コーヒーブレイク
- 16:40-17:00 ジアゼパム服用後の主観眠気評価と客観的精神運動機能に関する研究
三島 和夫
秋田大学医学部精神科学講座
- 17:00-17:20 教育現場での過眠と心の健康調査
内山 眞
国立精神・神経センター精神保健研究所
- 17:20-17:40 高校生の睡眠の現状と午睡導入の試み
内村 直尚
久留米大学医学部精神神経医学講座
- 17:40-18:00 交通機関ドライバー検診における閉塞性睡眠時無呼吸症候群
スクリーニングにおける問題点について
井上 雄一
代々木睡眠クリニック
- 18:00-18:20 トラック運転手の睡眠障害調査
宮崎総一郎
滋賀医科大学医学部睡眠学講座